

世界につながる 未来につながる

## 光ブロードバンド・インターネット

### 町内全域を対象とした光ブロードバンド通信環境の整備に着手

現在、町内の一部のみを提供されているインターネットのブロードバンド・サービスの地域間格差を是正し、高度情報化社会に対応できるまちづくりを目指す

めに、町では、町内全域を対象として、民間通信事業者による光ブロードバンド通信環境の整備に着手し、平成22年度内にサービス提供を開始します。

#### 光ブロードバンド通信環境を町内全域で整備

現在、本町は、インターネットなどをより快適に利用することができるブロードバンド通信サービス（ADSLなど）が、民間通信事業者から町内の一部にしか提供されていない状況にあります。

そこで、町では、今後のまちづくりを進める上で、高度情報化社会における情報通信に関する本町の課題を総合的に解決するとともに、企業誘致や若者の

定住促進などに関する重点施策をより効果的に実施するための検討を重ねた結果、町内全域を対象とした光ブロードバンド通信環境整備を、平成22年度に実施することとしました。

#### 民設民営方式による整備で町の財政負担を大幅に軽減

今回の整備に当たり、町の経費負担をより軽減するために、「民設民営方式」により整備を行います。

「民設民営方式」とは、町が直接的に通信施設などの環境整

#### NTT西日本が整備・運営を実施



▶ 奥名町長から通知書を手渡された中江支店長

3月24日(水)町長室で、町内全域での光ブロードバンド整備および運営を実施する西日本電信電話株式会社（NTT西日本）熊本支店の中江章三支店長に、奥名克美町長から本事業に関する補助金交付決定通知書が手渡されました。

平成22年12月までに、同社が新たに採用する、信頼性が高くセキュリティなどに優れた規格の光ファイバー回線通信網「フレッツ光ネクスト」を整備して、インターネット接続やIP電話のサービス提供を開始します。

備やサービス提供を行わず、整備・運営を実施する民間通信事業者を選定し、サービス提供を始めるための事業費を補助する方式です。この方式は、自治体が自ら通信網を整備し運営を事業者者に任せる「公設民営方式」と比較して、施設整備にかかる経費の一部のみを町は負担するだけで、整備後の運営にかかる経費や施設の更新にかかる経費などを町は必要としません。

そのようなことから、後年にわたる経費負担が町には発生せず、公費の支出をより抑えることができることから判断して、「民設民営方式」による整備を行います。

「民設民営方式」による光ブロードバンド通信環境の整備で、自治体内の全域で実施するのは九州初になります。

また、利用者は、運営する事業者の通常のサービス料金で利用することができ、料金の中に整備に関する費用負担が追加になることはありません。

## NTT西日本による環境整備およびサービス提供

整備および運営を実施する事業者は指名型総合評価方式で選定し、西日本電信電話株式会社（NTT西日本）熊本支店が今回の事業を実施します。

光ファイバー敷設などの整備の総事業費は6億1,390万円、このうち町が2億6,900万円を同社に補助します。補助には、国土交通省の地域住宅交付金や過疎債を充てます。整備する光ブロードバンド通信環境は、光サービスの中でもセキュリティに優れた最新サービスを導入します。

## 平成22年度内でのサービス提供スタートを目指し整備

今後は、平成22年12月下旬でのサービス提供開始を目指して整備を進めます。

町民の皆さんの個人宅などへのサービス提供につきましては、平成22年12月下旬以降、利用申込み契約の内容に応じた屋内配線工事の完了後に提供が開始されます。

## 詳しい内容や申し込みについては住民説明会を開催

今後の詳しい整備日程やサービス内容、利用料金、お申し込み手続き方法などについては、事業者による住民説明会などを開催して随時お知らせします。

### ▼お問い合わせ先

町総務課  
☎ 096・234・1111  
(内線251)

## 光で広がる、快適ライフスタイル ～光ブロードバンドの接続イメージ～



※1「回線終端装置」は、レンタル提供されます。  
 ※2「ひかりTV」はオプション契約になります。専用受信機は、レンタル提供されます。

